



平成 27 年 8 月 14 日

各 位

会 社 名 株式会社アイロムグループ
代 表 者 名 代表取締役社長 森 豊隆
(コード番号 2372 東証第一部)
問 合 せ 先
役 職 取締役 経営企画本部長
氏 名 谷田 洋平
電 話 03-3264-3148

当社子会社による米国 Minerva Biotechnologies 社向け 研究用 iPS 細胞等の供給・販売を目的とする技術実施許諾契約締結のお知らせ

当社の 100%子会社である ID ファーマ株式会社(以下、「ID ファーマ」という)は、ID ファーマが所有する CytoTune®-iPS(※1)を用いて米国 Minerva Biotechnologies 社(以下、「ミネルバ」という)が研究用 iPS 細胞を作製し、その iPS 細胞等を製品として供給・販売することを許諾する契約を締結したことを下記のとおりお知らせいたします。

記

1. 契約の概要

ID ファーマはミネルバに対して、ミネルバが CytoTune®-iPS とミネルバの技術を用いて iPS 細胞を作製すること、それにより得られた iPS 細胞を分化させること、それらにより得られた iPS 細胞並びに分化細胞を内部研究、販売および細胞作製受託サービスに用いることについて、全世界を対象とする非独占的な権利を許諾しました。これにより ID ファーマはミネルバより、契約一時金(契約時並びにミネルバのサービス開始時)・年間使用料・iPS 細胞等販売額に対する一定料率のロイヤリティ・ミネルバが受託するサービス収入に対する一定料率のロイヤリティを受け取ります。

2. 契約の意義

ミネルバはある増殖因子を用いて、iPS 細胞をナイーブ状態と呼ばれる発生学的にさらに初期の未熟な状態にする技術を保有しています。ミネルバは本契約により ID ファーマの CytoTune®-iPS を活用して、全世界のユーザーに対して研究目的の利用に限り、高品質な iPS 細胞とそれに由来する分化細胞を供給することができるようになります。ミネルバの技術を用いて作製された iPS 細胞はナイーブ状態であるために、心筋・神経など多様な細胞に分化しやすいことがわかっています。これにより基礎研究や再生医療の開発を加速することが期待されます。

ID ファーマは CytoTune®-iPS を国内外向けにそれぞれ研究用として発売しております。これに加えて研究用 iPS 細胞やそれに由来する分化細胞の供給・販売を行う全世界の事業者に対して CytoTune®-iPS の技術実施許諾件数を伸ばしていきます。将来はその利用目的範囲を医療用に拡張することも見込んでいます。

3. ミネルバについて

ミネルバの概要は次のとおりです。

会社名	Minerva Biotechnologies Corporation
本社所在地	40 Bear Hill Road, Waltham, MA USA
代表者	Dr. Cynthia Bamdad
事業内容	幹細胞・癌等の研究

4. 業績に与える影響

本契約締結による当期の業績への影響は軽微と見込んでおります。また、当期の業績予想に変更はありませんが、変更が生じる場合は速やかにお知らせいたします。

※1. CytoTune®-iPS

CytoTune®-iPS は、京都大学の山中伸弥教授の iPS 細胞作製技術と、ID ファーマのセンダイウイルスベクター技術を融合させて開発した iPS 細胞誘導キットであり、本キットを用いることにより、一回のみのベクターの使用で線維芽細胞などの体細胞から iPS 細胞を効率よく誘導することができます。特にヒトに大きな苦痛を与えずに採取できる末梢血・血液細胞からの効率的な誘導が可能であり、他の方法と比べて優れた性能を有しています。さらに本キットを用いて作製された iPS 細胞は、元の細胞の染色体上の遺伝子配列を無傷にそのまま維持しており、また iPS 細胞誘導に用いたベクターも残っていないため、国内外の研究者から高い評価を受けております。

以 上